2. 足立区の概要

2.1　地形・位置

足立区は、図 2-1 に示すように、東京都 23 区の最北端に位置し、東から南西にかけて葛飾区、墨田区、荒川区、北区に隣接し、西から北東にかけて埼玉県の川口市、草加市、八潮市と隣接している。

区の形は東西に約 11ｋｍ、南北に約 4～9ｋｍと四方へ広く、その面積は 53.25ｋ㎡である。これは東京都総面積の約 2.4%で、23 区総面積では約 8.5%に当たり、23 区の中では世田谷区、大田区に次いで 3 番目の大きさである。

図 2-1　足立区の位置

区内の鉄道交通には、JR 常磐線、東武スカイツリーライン、東京メトロ千代田線および日比谷線、つくばエクスプレス、京成本線、都営日暮里・舎人ライナーがある。

また、主要道路には、首都高 6 号三郷線、首都高中央環状線、首都高川口線、環状 7 号線、国道 4 号線、放射 11 号線等がある。

地形的には、高低差の少ない平坦地で、北西から南東方向に向けて緩やかに傾斜している。 区内には、南に隅田川、荒川、西に新芝川、北に毛長川、垳川、東に綾瀬川、中川の河川があり、四方を川で囲まれている（図 2-2）。

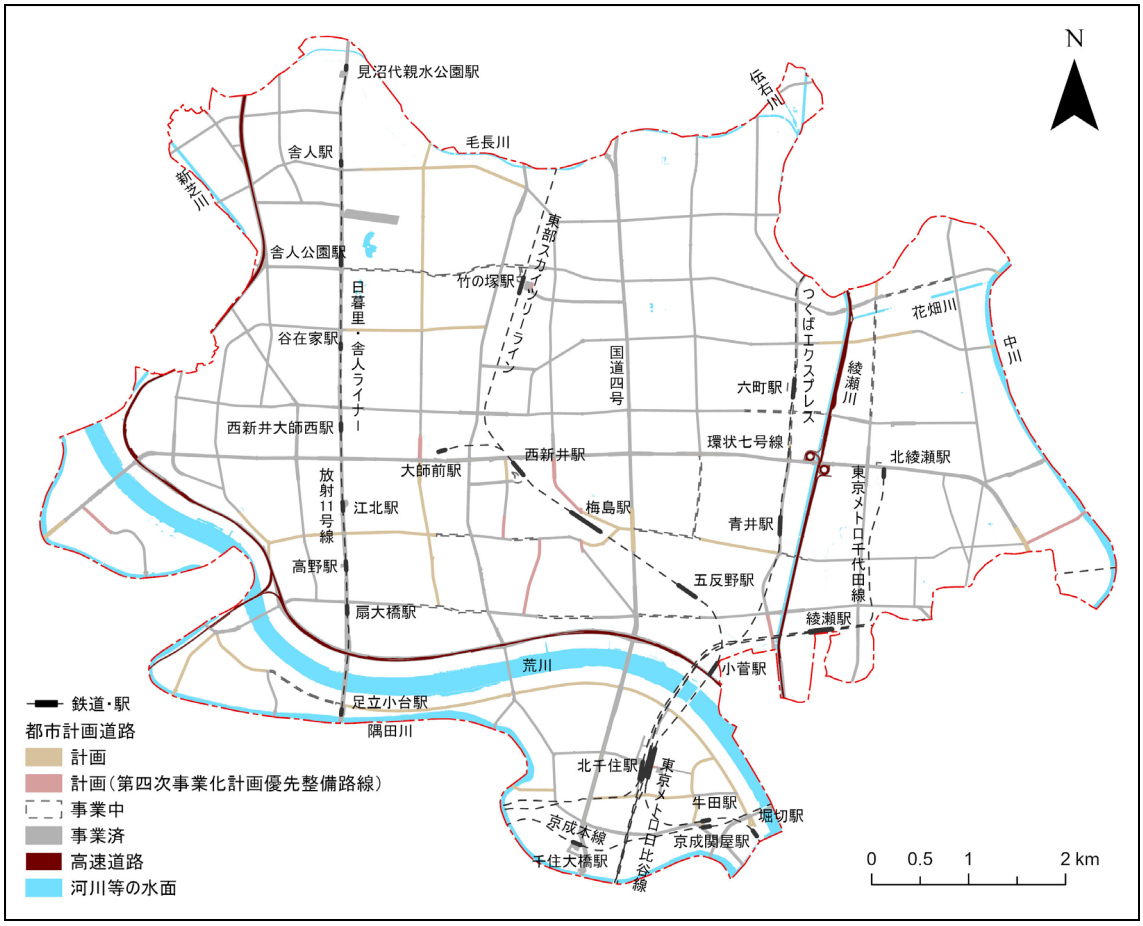


図 2-2　足立区の道路、駅、河川

2.2 人口

令和 6 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳による区の世帯および人口を表 2-1 に示す。区の総人口は 693,223 人、人口密度は 13,018 人／ｋ㎡となる。

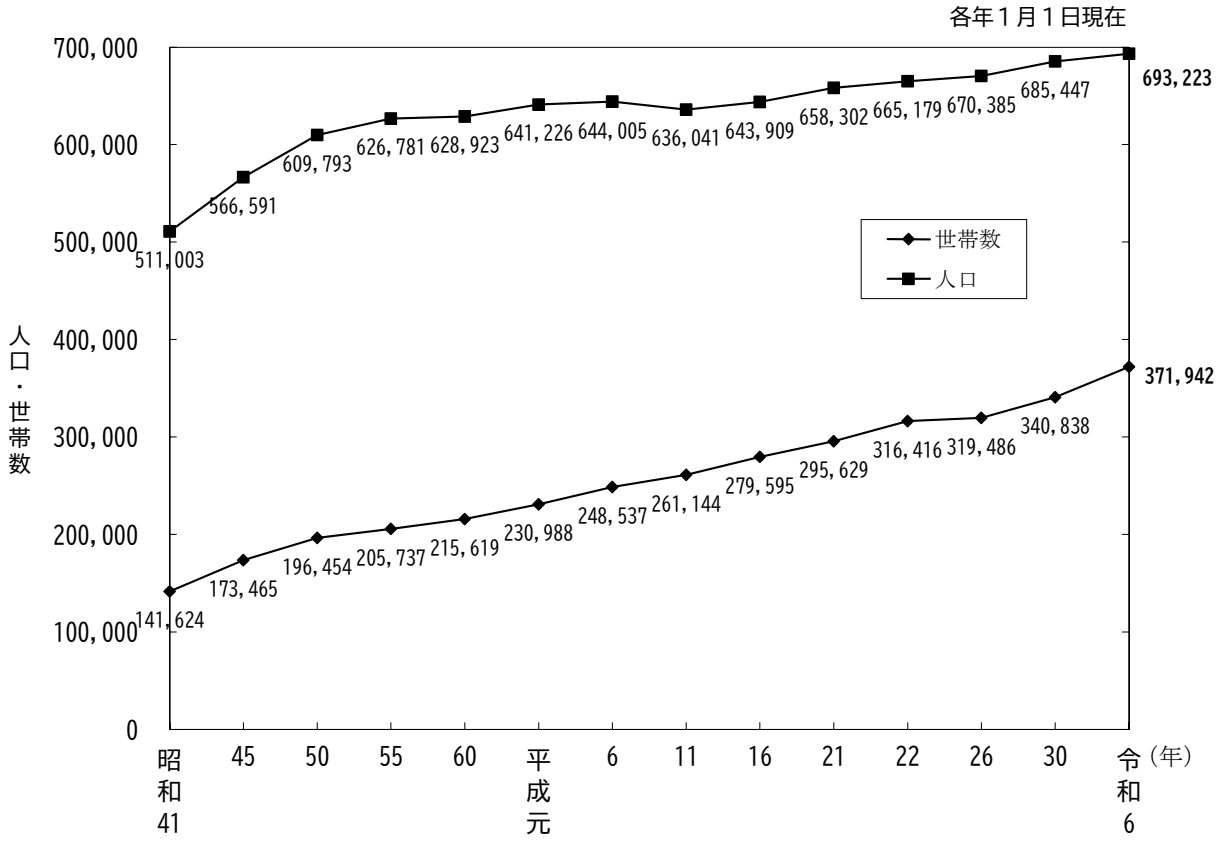
総人口と世帯数の推移を図 2-3 に示す。人口・世帯数とも増加の一途をたどっている。

令和 6 年 1 月 1 日現在の足立区の人口は、23 区においては世田谷区、練馬区、大田区に次いで 4 番目に多く、世帯数では世田谷区、大田区、練馬区についで 4 番目に位置している。

表 2-1 人口・世帯数の比較

平成30年1月1日現在	令和6年1月1日現在	増減
340,838世帯	371,942世帯	31,104世帯増
685,447人	693,223人	7,776人増

出典：足立区ホームページ内「足立区の町丁別の世帯と人口」



出典：足立区ホームページ内「数字で見る足立」、「足立区の町丁別の世帯と人口」

図 2-3 人口・世帯数の推移

2.3　公園・緑地等

区内の公園は、令和 5 年 4 月 1 日現在では、500 箇所が開設されており、これらの公園面積合計は、3,258,604 ㎡となっている（表 2-2)。

平成 29 年 4 月 1 日からの 6 年間で、公園･緑地等の面積は 23,684 ㎡増加し、公園整備の目標指標でもある公園率は、平成 29 年から 0.1%増加して 6.1%にとなった。その要因としては、区立公園が新たに整備されたことが挙げられる。

表 2-2　公園・緑地の現況（平成 29 年との比較）

種別	平成29年4月1日現在		令和5年4月1日現在	
	箇所数	面積(㎡)	箇所数	面積(㎡)
都立公園	3	911,156	3	924,665
区立公園	336	1,553,110	344	1,581,174
区立緑地	6	663,992	6	663,992
区立児童遊園	153	92,223	147	88,773
合計	498	3,220,480	500	3,258,604
公園率*		6.0%		6.1%

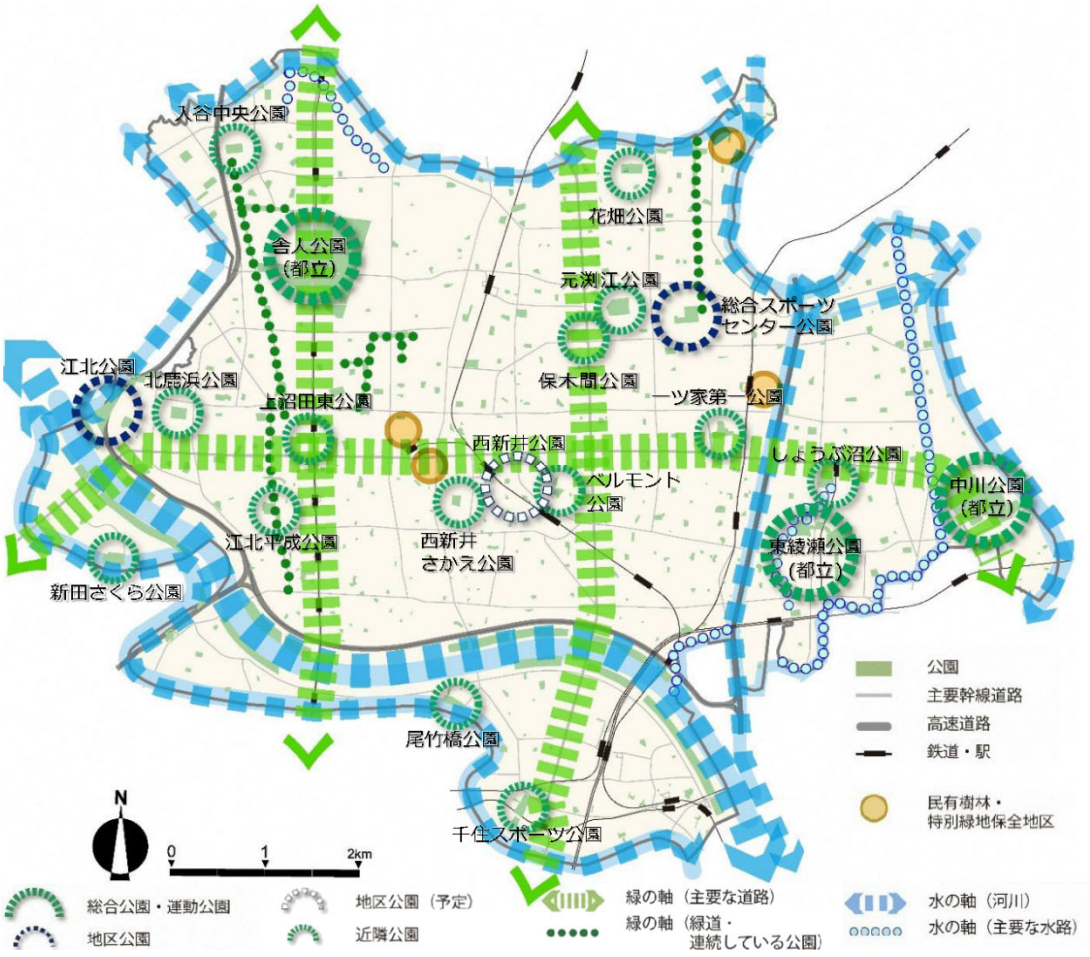
出典: 足立区公園便覧(令和 5 年 4 月 1 日現在)

*公園率: 公園率＝公園合計面積(プチテラスを含む)÷区域面積

注）都市構造区分の「公園緑地」や、資料編に掲載した公園別の集計結果は工事状況や今後供用予定の公園も含んだものであり、上記の公表値とは集計結果が異なる。

2.4　緑の配置方針

「第三次足立区緑の基本計画」（令和 2（2020）年 12 月）では、総合的に緑の効果の高い大規模な公園、緑地、民有樹林帯や、区を縦断・横断する軸を形成する水辺や道路・緑道を、「骨格となる水と緑」と位置付け、都市の構造上、重要な水と緑として確保していくとともに、「緑の効果」グリーンインフラの視点に沿って、区民、事業者と協力して、更なる充実を目指している。骨格となる水と緑の図は図 2-4 に示す。



出典：「第三次足立区緑の基本計画」（令和 2（2020）年 12 月）

図 2-4　骨格となる水と緑の図

2.5　都市構造区分図等

「足立区都市計画図」等を基に作成した都市構造区分図を図 2-5 に、景観形成地区、地区計画等の配置を図 2-6 に示す。

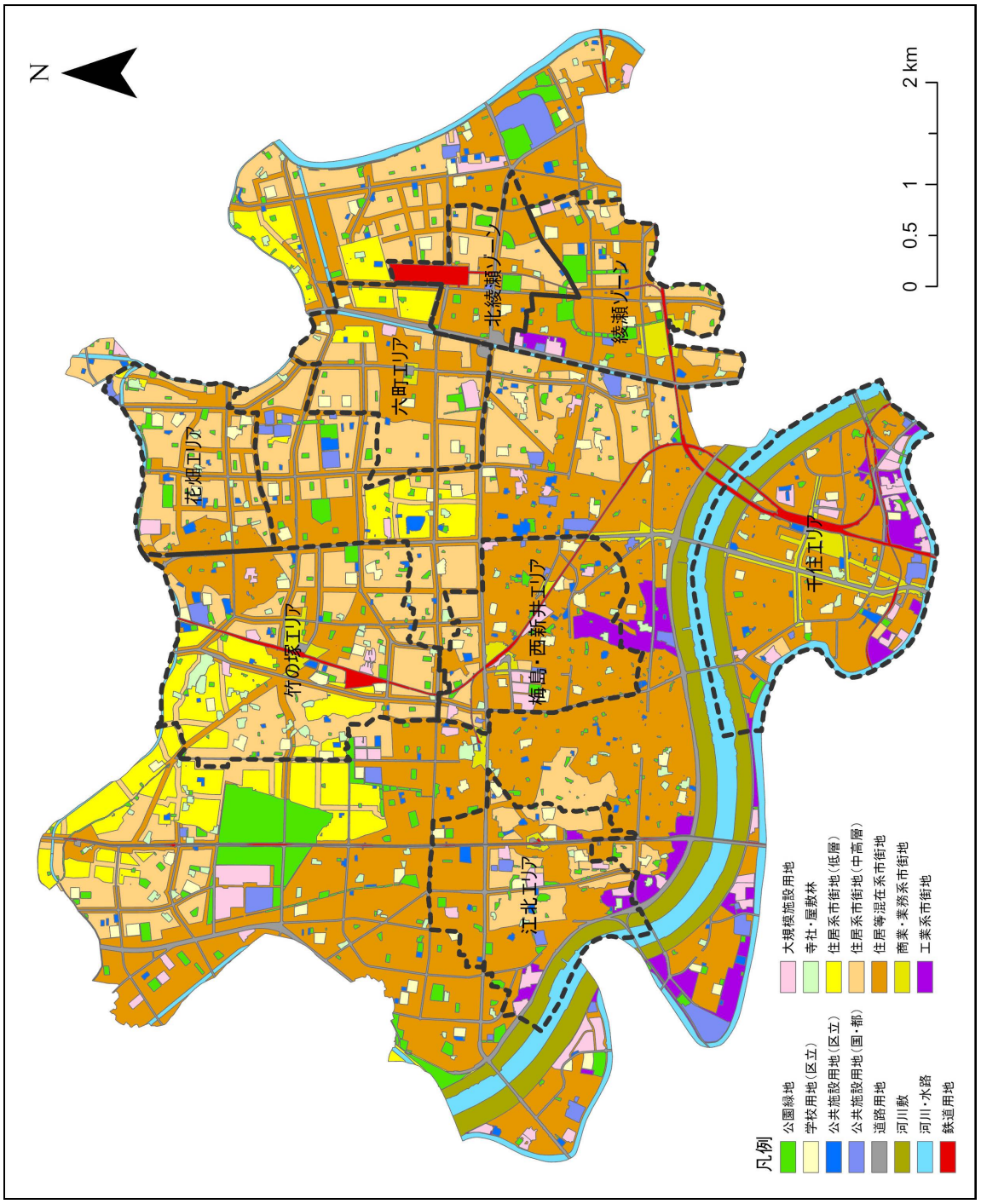


図 2-5　都市構造区分図

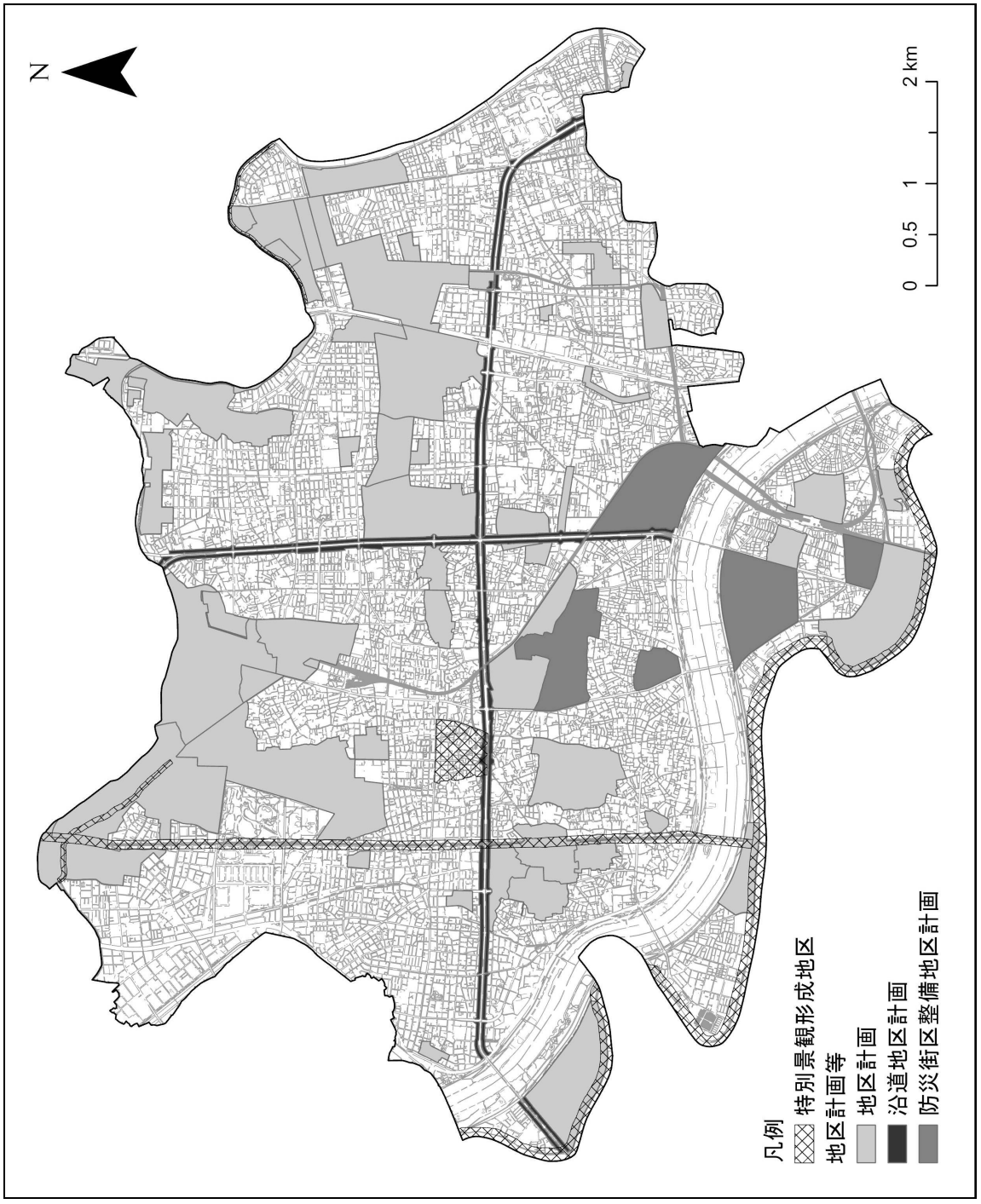


図 2-6　景観形成地区・地区計画等配置図